

科目名		プレゼンテーション 1							年度	2024	
英語科目名		Presentation 1							学期	後期	
学科・学年		機械設計科 1 年次		必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員		野崎 甚司			教員の実務経験		あり	実務経験の職種		研究開発	
【科目の目的】											
自己表現方法のひとつである「プレゼンテーション手法」の基礎・ツールを体系的に理解することで、就職活動、進学、作品発表などの自己業現を練習し体得する事を目的とする											
【科目の概要】											
プレゼンテーションの目的理解とその準備の流れ、道具の使い方（パソコンリテラシ）、プレゼンテーションの進め方を学ぶ。											
【到達目標】											
基本的なコミュニケーションとしてのプレゼンテーションを学び、学校での学び・インターンシップ・将来の仕事・社会生活の中で、自分の意見を効率的に伝えることができるコミュニケーションスキルを身に付けることを目標とする。											
【授業の注意点】											
職業人としての知識習得の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。また、試験合格に向けて各自問題演習を行い合格をめざすこと。ただし、授業時数の4分の3以上出席（オンライン授業含む）しない者は定期試験を受験することができない。											
評価基準＝ルーブリック											
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル 4 よい	レベル 3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル 1 要努力						
到達目標 自己表現	プレゼンテーションツールを活用し自身の意見を表現し、聞き手を感動させることができる	プレゼンテーションツールを活用し自身の意見を表現し、聞き手の心を動かすことができる	プレゼンテーションツールを活用し自身の意見を表現できる	プレゼンテーションツールは活用できるが自身の意見は表現できない	プレゼンテーションツールが活用できず自己表現もできない						
到達目標 グループワーク	グループでプレゼンテーションを行い自身の意見を表現し、聞き手の心を動かすことができる	グループでプレゼンテーションを行いグループの意見を資料で表現できる	グループでプレゼンテーションを行うことができる	周囲の力を借りてグループでプレゼンテーションを行うことができる	グループでプレゼンテーションを行うことができない						
到達目標 個人発表	単独でプレゼンテーションを行い自身の意見を表現し、聞き手の心を動かすことができる	単独でプレゼンテーションを行い自身の意見を表現できる	単独でプレゼンテーションを行うことができる	周囲の力を借りて単独でプレゼンテーションを行うことができる	単独でプレゼンテーションを行うことができない						
到達目標 ツールの理解	プレゼンテーションツールの使い方を理解し自身のオリジナルで実践できる	プレゼンテーションツールの使い方を理解し実践できる	プレゼンテーションツールの使い方を理解している	周囲の力を借りればプレゼンテーションツールを活用することができる	プレゼンテーションツールの使い方が解らない						
到達目標 プレゼン基礎	プレゼンテーション手法と注意点、効果的な手法を理解し実践できる	プレゼンテーション手法を理解し、実践できる	プレゼンテーション手法を理解し、他者に説明できる	プレゼンテーション手法を理解している	プレゼンテーション手法を理解していない						
【教科書】											
各授業において適時必要な参考資料を配布する。											
【参考資料】											
【成績の評価方法・評価基準】											
演習課題 50% 課題を総合的に評価する レポート 20% 授業内容の理解度を確認するために実施する 成果発表 20% 授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する 平常点 10% 提出物等の期限厳守を積極的な授業参加、授業態度として評価する											
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。											

